
編集後記

中華人民共和国湖北省武漢市において、最初に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が発症したとされる 2019 年 12 月 8 日から丸一年が経ちました。今日までの間、世界各国にて COVID-19 の感染者数が増加し、経済をはじめ様々な活動が制限を受けました。

研究活動も例外ではなく、多くの学術集会や研修会などは開催形式の変更（リモート開催）や日程変更などの対応を迫られながらも、活動を継続する努力をされています。そのような状況下で、本研究会誌も多くの方々のお力添えにより、世の中の知的財産の一つとして発刊を継続させて頂くことができましたことに感謝を申し上げます。

医療、介護、福祉など直接的に人命や生活支援に関わる活動の従事者は、感染の危険性と背中合わせで、その手を止めることなく自らの対象者と向き合い続けています。当研究会も活動の手を止めることなく、使命感を持ちながら未来に向かって活動を継続（continue）していく所存です。

令和 2 年 12 月 15 日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人代表 木村篤史

京都在宅リハビリテーション研究会誌

第 14 卷

令和 2 年 12 月 21 日 発行

編集者

京都在宅リハビリテーション研究会事務局

（木村篤史，永山智貴，小西倫太郎，神田佳明，森川重幸，堀田直樹，
浅野翔平，村富渚，中島隆輔，増馬裕太郎）

発行者

木村 篤 史

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

Tel 0771(72)1221